

アクセシビリティは『誰のため』 — 障がい者対応から見えるもの

今年度の研修会は、「障がいのある方に向けた鑑賞支援」から、「多くの館における高齢のお客様への対応」をテーマに、講義と事例発表、クロストークを行います。利用しやすいホールや公演とはどんなものか、これからのホール運営とは切り離せない問題をみなさんで一緒に考えましょう。

日時

2026年1月28日(水)
14:00~16:30

会場

iichiko 総合文化センター 4階
中会議室 1

参加無料

※要事前申込
下記よりお申込ください



応募締切：1月19日(月)

講師

南部 充央 (一社)日本障害者舞台芸術協働機構 代表理事

2001年より障害者も参加できる舞台芸術の企画制作・運営に従事。想像支援を目的としたアニメーション字幕、遠隔音声ガイドシステムを開発。2021年よりインクルーシブな野外音楽フェス「BEYOND MUSIC FESTIVAL」を主催。2023年度からは文化庁委託事業として地方劇場の障害者参加環境づくりに取り組む。2025 日本国際博覧会ユニバーサルサービス検討会委員、愛知国際アリーナ・ユニバーサルサービスデザイン・アドバイザー等を歴任。現在はTOKYO FORWARD 2025 の日本初ろう者と聴者協働舞台作品『黙るな 動け 呼吸しろ』のアクセシビリティアドバイザー。著書「障害者の舞台芸術鑑賞サービス入門」(2019/NTT 出版)。

事例発表

設備改善とスタッフの対応を通じた、誰もが鑑賞しやすい劇場づくり

賀来 真

iichiko 総合文化センター 施設課 課長

八坂 千景

iichiko 総合文化センター 企画普及課 副課長